

子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の化学物質分析加速化事業



【令和3年度補正予算（案） 600百万円】

化学物質のばく露等による子どもへの健康影響を明らかにするエコチル調査において、懸念される化学物質の生体試料の分析を加速化することにより、安全・安心な子育て環境の早期実現等を図ります。

1. 事業目的

約10万組の親子の協力のもと実施しているエコチル調査で採取された生体試料について、子どもの成長・発達への影響が懸念されている農薬・除草剤、リン系難燃剤等に関する健康影響に関する生体試料の化学分析を加速化し、化学物質による子どもの健康への影響の解明を進め、安全・安心な子育て環境の早期実現等を図る。

2. 事業内容

- 「成長戦略フォローアップ2021」、「少子化社会対策大綱」及び「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針について」において、子どもが健やかに育つ環境の実現を目指すためエコチル調査を実施するとされている。
- また、「国土強靱化基本計画」及び「国土強靱化年次計画2021」において、有害物質による健康被害を防ぐための調査に取り組み、災害が起こる前に、より多くの化学物質の健康影響について調査する必要があるとされている。
- 約10万組の親子の協力のもと実施しているエコチル調査において、子どもの成長・発達への影響が懸念されている農薬・除草剤、リン系難燃剤等に関する健康影響に関する生体試料の化学分析を加速化する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 運営費交付金
- 交付先 国立環境研究所
- 実施期間 令和3年度

4. 事業イメージ

● 農薬・除草剤の流出

近年の集中豪雨等による有害な化学物質の環境への流出・拡散による健康被害の増加への懸念

● リン系難燃剤のばく露量増加

covid-19感染症の蔓延による在宅時間の増加によって、乳幼児含む家庭内でのばく露量増加も懸念

化学物質の健康影響に関する生体試料の分析を加速化

化学物質による子どもの健康への影響の解明が進み、安全・安心な子育て環境の早期の実現に貢献